

## 第2回高岡テクノドームの機能の拡充等に関する検討会概要

日 時：令和2年3月4日（水）10:00～11:25

場 所：県庁4階大会議室

主な意見：

- ・ 現在のテクノドームの空調や照明などを改善・充実し、別館と合わせて相乗効果を出していくことが良いのではないか。
- ・ 高岡、県西部に行ったら、日本や富山県が誇れるものがあるというような、光るものになってほしい。
- ・ ものづくりを体験したいという人は多く、体験施設を常設にしてはどうか。
- ・ 旧来のまちと新高岡駅が二極化しており、まちなかの性格と新幹線の周りとを性格分けし、役割分担を考えていく必要がある。また、全てでなくとも、他よりも優位に立つため、選択と集中でどこかでナンバーワンにならないといけないうことにはしないと注目されない。
- ・ 5Gなど新しい技術を活用したエンターテイメントが出てくると施設の活用の仕方もこれからいろいろ変わっていくため、そうした変化に対応可能な汎用性が高いものがあるとよい。
- ・ 最先端の設備があっても、活用する側が重要になってくる。場所を作ると同時進行で、その機能をうまく活用できる企業や人材、ひいては産業を育成していく必要がある。
- ・ ここでしかできない、本物の技術を体験・学べる場となればよい。そういうところで子どもが体験できるのは親としてもうれしく、付いていく親も新鮮な感動と興味を持って子どもたちと学ぶことができる。
- ・ 体験施設を誰が運営するかが大切。施設を使いこなし、アドバイスもできる人材を確保する必要がある。
- ・ 広域的な利用が前提であり、県西部地域の企業が有益な展示活動を展開し、連携できるような組み立てをお願いしたい。
- ・ 多機能であれば運用が大事であり、人が集まってもらえるような営業活動も必要。
- ・ 親子向けに託児スペースや県産の木材や製品を活用した子どもが遊べるコーナーを置いてはどうか。
- ・ せめて50席のカフェがあるとお客も集まりやすい。また、芝生の公園があると、子どもや家族が休憩でき、さらにマルシェの開催などいろいろな活用ができることから、市民も集まる場所になるのではないか。
- ・ 駐車スペースを多くとることも大事だが、親子向けに余裕があるスペースの確保も必要。
- ・ ユーチューバーの活用など、機能を外の人に知ってもらう広報の工夫が必要。